

仕 様 書

1. 目 的

この仕様書は、発注者 東金市外三市町清掃組合（以下「発注者」という。）の一般廃棄物処理事業に伴い発生する「不燃残渣」を、受注者が発注者の管理する一般廃棄物最終処分場まで衛生的かつ効率的に運搬することに関し仕様を定めることを目的とする。

2. 業 務 名 溶融スラグ及び不燃残渣最終処分場運搬業務委託その2

3. 履 行 期 間 令和6年6月3日～令和7年3月31日

4. 業 務 内 容

（1）運搬対象物

不燃残渣（ビン・ガラスを分別する際発生する不燃物）

※溶融スラグについては発生しない。

（2）発生場所、運搬先及び予定数量

発生場所、運搬先及び予定数量は、下表のとおりとする。

ただし、施設稼働状況等により、不燃残渣の数量は増減する場合がある。

品 名		運搬場所	予定数量
不燃残渣	発生場所	ア（有）千葉容器 （山武郡九十九里町小関1123番地） イ（株）中屋総業 （長生郡白子町北高根2725番地1） ウ 東金市外三市町環境クリーンセンター （東金市三ヶ尻340番地） 溶融スラグストックヤード	約710t
	運 搬 先	グリーンオアシス大網 （大網白里市小西641番地）	

※ 運搬経路については別添図を参照すること。

（3）運搬日

運搬日は発注者の指定する日とする。

なお、運搬日については、受注者が、（有）千葉容器及び（株）中屋総業と調整のうえ、事前に発注者に報告することとする。

（4）運搬を要しない日

土日祝日とする。ただし、これ以外の運搬を要しない日は、発注者の指示による。

(5) 搬入時間

受注者が搬入できる時間は、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までの間とする。ただし、これ以外の場合は発注者の指示による。

5. 運搬及び計量

- (1) 受注者は、搬入日について（有）千葉容器及び（株）中屋總業と調整のうえ、発注者の承認を得なければならない。
- (2) 受注者は、発注者の指示した計量機で計量しなければならない。
- (3) 受注者は、発注者の指示した運搬経路を通行しなければならない。ただし、何らかの理由で通行できない場合を除く。この場合、必ず発注者に連絡をしなければならない。

6. 提出書類

- (1) 受注者は、着手にあたり次の書類を発注者に提出し、発注者の確認を受けなければならない。
 - ①着手届
 - ②主任技術者届
 - ③車両使用届出書
 - ④届出車両の従事者名簿
 - ⑤届出車両の自動車検査証の写し
 - ⑥届出車両の任意保険証券の写し
 - ⑦その他発注者が必要と認めた書類
- (2) 受注者は、契約期間が満了したときは発注者に完了届を提出しなければならない。

7. 体制

- (1) 受注者は、本業務に従事する者（以下「従事者」という。）について運転免許を取得して1年以上の運転経験を有する者を従事させなければならない。
- (2) 発注者は、業務実施上不適当と思われる従事者について、その理由を明示し、従事者の変更を指示することができる。この場合、受注者はそれに従わなければならない。
- (3) 受注者は、従事者の変更がある場合は、発注者に書面にて速やかに届け出なければならない。この場合、上記（1）に該当する者でなければならない。
- (4) 運搬車輛の従事者以外に必ず1名以上、上記（1）に該当する者を控えさせておくものとする。また、携帯電話等により常時、発注者と運転手との連絡調整が図れる体制にしなければならない。
- (5) 受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法第137号）」及びその他の業務に関する関係法令並びに「千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例（平成14年千葉県条例第2号）」等を遵守する

とともに、業務の運営にあたっては、衛生的かつ能率的に行わなければならない。

8. 使用車両

- (1) 使用する車両は原則として9,000kgを積載でき、ショベルローダで積み込み可能なダンプ車両とする。ただし、車両は、グリーンオアシス大綱で使用している長さ6.5メートル、幅2.7メートル、高さ4メートル以下の計量台本体で計測可能なものとする。
- (2) 受注者は、営業用ナンバー車両を使用しなければならない。
- (3) 運搬予定の一般廃棄物（不燃残渣）を当日、時間内に運搬出来るよう、必要に応じ追加車両がなければならない。なお、追加車両は上記（1）と同様の車両とする。
- (4) 使用する車両は、事前に車両使用届出書を提出し、発注者の承認を得なければならない。この場合「東金市外三市町環境クリーンセンター 委託車」と必ず明確に車両に表示しなければならない。
- (5) 受注者は、届出済みの車両の変更等を行う場合は、あらかじめ発注者に車両変更申請書を提出し、承認を得なければならない。
- (6) 受注者は、臨時に届出済みの車両以外の車両を使用する場合は、臨時車両使用願いを発注者に提出し、承認を受けなければならない。この場合、車両の自動車検査証の写しを添付しなければならない。
- (7) 臨時車両使用の場合は、上記（4）は適用しない。
- (8) 受注者は、使用する車両に自動車損害賠償任意保険の対人賠償保険、対物賠償保険に加入しなければならない。

9. 指導・監督

- (1) 受注者は、業務の実施にあたり、車両の整備、制限速度等に充分注意し、親切丁寧を旨とするよう、従事者に指導しなければならない。
- (2) 受注者は、運搬車両にスコップ等を常に装備しなければならない。
- (3) 受注者は、一般廃棄物（不燃残渣）の運搬にあたっては、積載物の飛散防止に努め、その運搬に十分注意しなければならない。万一、飛散等が生じた場合は、直ちに積載物を回収するとともに飛散した箇所の清掃を行い、原状の復旧に努めるものとする。また、運搬に際しては、シート又はネット等で積載物を覆うなどの飛散防止対策を図らなければならない。
- (4) 受注者は、搬入にあたり、常に車両を清潔に保ち、運行する道路周辺の住民に不快感を与えてはならない。
- (5) 受注者は、業務遂行中、他の車両の妨げとなるような行為をしてはならない。また、運搬車両の始業点検等を行い、交通法規を厳守し、常に安全な運行に努めなければならない。

10. 報 告

- (1) 受注者は、運搬作業日報を翌日（土日祝日の場合は直後の平日）に発注者へ提出しなければならない。
- (2) 受注者は、運搬作業月報を翌月の10日（土日祝日の場合は直後の平日）までに発注者に提出しなければならない。

11. 事 故 報 告

受注者は、業務の履行にあたり事故が生じた場合、直ちに発注者及び関係機関等に通報・報告するとともに、3日以内に書面による報告書を発注者に提出しなければならない。

12. 教育・訓練

受注者は従事者に対し、必要な教育訓練を行わなければならない。

13. 秘密の厳守

受注者は、業務の履行上知り得た秘密事項は、他に漏らしてはならない。

14. そ の 他

この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、発注者と受注者が別途協議のうえ解決するものとする。